

◆実践問題35◆

1回目
2回目
3回目
4回目
5回目

貫^い之^しが馬^ばに乗り^{のり}て、和泉^{いずみ}の国^{くに}におは^おします^すなる^る。

蟻通^{あみど}の明神^{めいじん}の御前^{ごぜん}を、暗^{くら}きに、え^え知ら^らで^で通り^とけれ

ば、馬^ばにはかにたふれて死^しにけり。い^いかなること

に^にか^かと驚^{おどろ}き思^{おも}ひて、火^ひのかげに見^みれば、神^{かみ}の鳥居^{とりか}
の^の見え^みければ、い^いかなる^る神^{かみ}のおは^おします^すぞ^ぞと尋^{たず}

ね^ねければ、「^これは、蟻通^{あみど}の明神^{めいじん}と申^{まを}して、物^{もの}とが

めい^{めい}み^みじく^{じく}せ^せさ^さ給^{たま}ふ^ふ神^{かみ}なり。も^もし、乗^{のり}りな^なが^がら

や^や通^とり給^{たま}へ^へる^ると^と人^{ひと}の言^{こと}ひ^ひければ、い^いか^かにも、暗^{くら}

さに、神^{かみ}おは^おします^すとも知^しら^らで、過^すぎ^ぎ侍^{さむらい}りにけり。

い^いか^かが^がす^すべき^きと、社^{やしろ}の禰宜^{ねぎ}を呼^よびて問^とへば、そ^その

禰宜^{ねぎ}、た^ただ^だにはあ^あら^らぬ^ぬさ^さま^まなり。汝^な、我^{われ}が^が前^{まへ}を^を馬^{うま}

に^に乗^{のり}りな^なが^がら通^とる。す^すべ^べか^から^らくは、知^しら^らざ^ざれ^れば^ば許^{ゆる}

し^しつ^つか^かは^はす^すべき^きなり。し^しか^かは^はあ^あれ^れど、和歌^{わか}の道^{みち}を

き^きは^はめ^めた^たる^る人^{ひと}なり。そ^その道^{みち}を^をあ^あら^らは^はして過^すぎ^ぎば、

馬^{うま}、さ^さだ^だめ^めて起^おつ^つこ^ことを^を得^えむ^むか。こ^これ、明神^{めいじん}の御託^{ごたつ}

宣^{のたま}なり」と言^{こと}へ^へり。貫^い之^し、た^たち^ちま^まち^ち水^{みづ}を^を浴^ゆみ^みて、こ

の歌^{うた}を^を詠^よみ^みて、紙^しに^に書^かき^きて、御社^{ごやしろ}の柱^{はしら}にお^おし^しつ^つけ

て、挿^さ入^いり^りて、と^とば^ばか^かり^りあ^ある^るほ^ほど^どに、馬^{うま}起^おき^きて身^みぶ

る^るひ^ひして、い^いな^なな^なき^きて立^たて^てり。禰宜^{ねぎ}、「許^{ゆる}し給^{たま}ふ」

とて、覚^さめ^めに^にけ^けりとぞ。